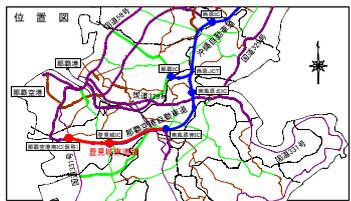


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道506号 <small>とみぐすくひがしどうろ</small> 豊見城東道路（那覇空港自動車道）	事業区分 高規格幹線 道路	事業主体 沖縄総合事務局 延長 6.2km
起終点 (白) 沖縄県豊見城市字名嘉地 <small>とみぐすくし なかち はえはるちよう やまかわ</small> (至) 沖縄県南風原町字山川 <small>なほ はえはるちよう やまかわ</small>		
事業概要 豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一翼を担うもので、豊見城市字名嘉地～南風原町字山川に至る延長6.2kmの道路である。現在供用中の沖縄自動車道と一体となって沖縄本島北部、中部、南部及び那覇空港間の定時性、高速性を確保することにより地域振興はもとより観光にも大きく寄与し、また、那覇市内の通過交通が転換することによる那覇市内の交通混雑の緩和に寄与することが期待されている。		
H3年度事業化 H2年度都市計画決定 (H14年度変更) H5年度用地着手 H9年度工事着手		
全体事業費 1,272億円 事業進捗率 73% 供用済延長(暫定) 3.5km		
計画交通量 33,700台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) = 1.1 (残事業) = 5.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 282.3/1,446.5億円 (事業費：246.9/1,411.1億円 維持管理費：35.4/35.4億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 1,565.9/1,565.9億円 (走行時間短縮便益：1,377.5/1,377.5億円 走行費用減少便益：112.6/112.6億円 交通事故減少便益：75.8/75.8億円)
基準年 平成17年		
事業の効果等 ① 円滑なモビリティの確保（並行する国道329号那覇東バイパスの渋滞損失時間が約3割削減） ② 主要な観光地へのアクセス向上が図られる（那覇空港から最寄りのICまで約10分） 他9項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 平成12年度から5年間で南部振興会・市町村会島尻地域整備促進期成会から15回もの早期建設に関する要望が出されている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 美ら海水族館の開館等もあり、観光入り込み客数は平成15年に500万人を超え、観光客の立寄り先も沖縄県本島全域に立ち寄る傾向となっている。また、沖縄自動車道における交通量も平成12年度に比較して、大幅に増加している。 また、那覇都市圏においても、大規模プロジェクトである豊崎プロジェクトが進められ分譲状況も順調に推移しており、那覇都市圏全体の人口も増加傾向にある。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 豊見城IC～南風原南IC間 L=3.5km 2/4供用済み。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度 豊見城ICから（仮称）那覇空港南IC間のL=約2.7kmを供用し、全線暫定（2/4）供用予定。		
施設の構造や工法の変更等 橋梁構造において、新技術等採用によるコスト削減を図った。 今後の施工に関しても、新技術の活用など、更なるコスト削減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すると、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

